

平成 30 年 10 月 18 日

調査報告書

山坂 節子 様

フォーチュンジャパン
広島県広島市中区大手町 1 丁目 1-22
豊成ビル 2F

TEL : 082-244-9009

FAX : 082-244-9010

代表者 保利 真介

調査報告書取扱規定

- この調査報告書は、極秘扱いとして貴殿にお渡しするものですから、貴殿の内部資料としてのみ御利用下さい。
- この報告書の複製は、一切禁止します。
- 万一、貴殿が前項の定めに違反して、この報告書の内容を他に漏らした為、他から弊社に対する紛議が生じ、これによって弊社が損害を被った時は、その損害は貴殿に賠償して頂きます。(損害賠償に関しては貴殿と弊社の間には訴訟の必要が生じた時は地方裁判所を管轄裁判所とします。)
- 弊社は、この報告書の記載内容について損害賠償の責を一切負いません。

Fortune Japan

調査報告書

※サンプル事例の為、依頼者様の同意を得て固有名称は全て仮称にしております。

[調査目的]

依頼者様のご主人である山坂一夫氏と長年に渡り不倫関係にある後藤麻子氏の行動を監視し、2人の不倫行為の証拠取得を本調査の目的として、調査を実施した。

[調査前情報]

調査対象者氏名 : 山坂一夫氏 (以後Ⓢと呼称) 昭和 25 年 1 月 21 日生
 調査対象者現住所 : 広島市東区高田 2-5-10 301
 調査対象者勤務先 : コロンブス プロマーケティング(株)広島支店
 中区小倉町 16-11 高嶋生命広島ビル内

不倫相手女性氏名 : 後藤麻子氏

不倫相手女性住所 : 東京都三千盛区山田 2-21-6 メイツ山田 106 号室

[調査結果]

調査実施日	調査時間	調査結果概要
平成 30 年 10 月 9 日 (土) ～平成 30 年 10 月 10 日 (日)	7:00～0:00 0:00～18:00	Ⓢは 9 日午前 7 時 31 分発のはやぶさ 200 号東京行きに乗車し、東京へ向けて出発する。台風 22 号の影響により約 34 分遅れの午後 0 時 05 分に東京駅へ到着。その後すぐに黒鹿中央新幹線改札口で不倫相手である後藤麻子氏と合流し、帰広する翌日の 10 日 18 時頃まで密会を楽しんだ。

※10月9日の宿泊先名 : ホテル根知 500 号室

東京都宝山区根知 3 丁目 15-2

※同ホテル利用時間 : 10 月 9 日午後 3 時 11 分過ぎから翌 10 日午前 10 時 45 分過ぎまで。

※調査日時についても実際の調査日とは異なった日付に変更しております。

〔 調査所見 〕

山坂一夫氏（以下㊦と呼称）は、平成30年10月9日午前7時31分発はやぶさ200号東京行き20号車7番B席に乗車して東京へ向った。この日は大型台風22号が紀伊半島をかすめて静岡県に上陸しており、同日午後には関東地方を直撃する予報が出ていた為、東京への到着が定刻より約34分遅れたが、東京駅到着後間もなく、㊦は黒鹿中央の新幹線改札口で不倫相手の後藤麻子氏（以下A子と呼称）と合流した。

その後2人は『東京駅名店街』の『越乃 東京駅名店街店』で昼食をとり、約40分後の午前0時56分頃に同店を出て『太陽 東京店』8階で㊦がトイレを利用した後、八重洲中央出口手前のカフェ『ジョースター コーヒーショップ』に入り（午後1時13分頃）、約1時間、同店で雑談を交わした後、同店を後にした。（午後2時26分頃）

その後『太陽 東京店』地下1階の『グルメパラダイス』内を巡り、弁当2ヶと缶ビールを2本購入すると同店を出た。（午後2時33分頃）

黒鹿地下街から地下鉄営団立山線方面へ歩き出した2人は途中の薬局に立ち寄り、栄養ドリンクを数本購入すると営団立山線へ乗車し、次駅の根知駅で下車した。

その後根知地下通路より『梅錦 根知店』（宝山区根知3丁目6-1）の地下1階へ入り、エスカレーターで同店1階に上がると同1階出入口より激しい雨が降りしきる街へと出、南東へ歩き出した。

200m程歩いたところにあるコンビニエンスストア『ジョナサン 根知3丁目店』に入店して商品（詳細不明）を購入した2人はレジで精算を行うと退店し、約2分後に『ホテル根知』（宝山区根知3丁目15-2）1階フロアへ入る。（午後3時10分頃）

1階のフロントでチェックインを済ませた㊦はA子と共に5階の500号室へ入室する。

その後、調査員が確保した同じく5階の、500号室への出入が確実に確認できる客室より監視を行ったが、深夜0時に至っても一度も500号室のドアが開く事は無かった。

㊦とA子が宿泊している500号室へ10日の深夜0時に施しておいた出入確認用のマーキングを翌10日の午前7時に確認したところ、同時点においてもマーキングに変化は無く、深夜0時以降今に至るまで、500号室からの出入は無かった事が明らかとなった。

以上、㊦がわざわざ広島から東京へ出向き、不倫相手であるA子と午後3時過ぎから翌朝10時44分までの19時間半に渡ってホテルの一室にこもり、ベッドを共にした事が証拠として得られた。

台風一過の晴天となった翌10日、上述した午前10時44分にフロントでチェックアウトをした2人は、『ホテル根知』を後にすると『×鶴公園』で2時間余りを過ごした後、『太陽 東京店』のレストラン街内『うなぎ平成橋 夏子』に入って昼食をとった。（午後1時30分頃から午後2時26分頃まで）

昼食後、2人は前日にも利用していた黒鹿中央にあるカフェ『ジョースター コーヒーショップ』へ入り、談笑を交わして時を過ごす。

その後別のコーヒーショップ『喫茶室 ヴァンクリーフ平成橋前店』に移動した2人は午後4時30分頃から午後5時49分頃まで、談笑を交わして時を過ごす。



㊦が午後6時33分の東京発広島行きのはやぶさ600号で帰る予定である為、それまでA子も㊦に合わせて時間を共にして逢瀬を楽しんだという状況であった。

2人は戸外でも常に腕を組む、若しくは手を繋いでおり、交際の深さを感じさせる雰囲気醸し出していた。

これは依頼者である山坂様に対する、㊦の現状の仕打ちとは余りにもかけ離れた行動であった事をご報告申し上げます。


調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)	
時 間	内 容
午前 06:48	<p>山坂一夫氏(以下㊦と呼称)の行動を調査する為、JR 広島駅(広島市南区松原町 1 番)北口(新幹線口)改札周辺にて監視態勢を執る。</p> <p>※尚、依頼者様より、本日㊦が午前 7 時 31 分発のはやぶさ 200 号東京行き(午前 11 時 30 分東京到着予定)へ乗車予定である事が判明している。(予約座席は同列車 20 号車 7 番 B 席)</p> <p>よって、調査員はあらかじめ㊦に近い席で切符を手配した上で上述の監視態勢を執る。</p> <p>本日のはやぶさ 200 号の指定席は既に満席であり、㊦に近い席の確保が不可能である為、やむを得ず、20 号車のすぐ後方の 19 号車(グリーン)の席を確保し、これに対応する。</p> <p>また、調査開始前の午前 6 時 46 分に調査本部経由にて依頼者様より㊦が自宅である『ロイヤルガーデン高田』(東区高田 2 丁目 5-10)を出られたとの情報を頂いた為、既に 6 時 30 分頃より広島駅で待機していた調査員が冒頭に記した態勢を執る。</p>
06:54	<p>左記時刻、㊦が当駅新幹線口 2 階改札手前のデッキへ現れ、改札口を抜けてすぐの天井から吊り下げられている電光掲示板(次発列車の時刻と行き先等が表示されている)を見上げる。</p> <p>※㊦服装:白系色シャツ、グレー系色スラックス、茶系色革靴着用。黒色ビジネスバッグ、黒系色ジャケット所持。</p>
	
06:55	<p>台風 22 号が接近中である影響を受けて、今朝方東海道新幹線の一部区間で運転を見合わせていた為か、㊦が改札口の駅員に運行状況を確認する姿が窺える。</p>

調査日 平成30年10月9日(土)

時 間	内 容
	<p>その後、列車が正常に運行している事を聞いたⓈは笑顔で駅員に応え、切符を見せて改札を通過していく。</p> 
午前 06:56	改札を抜けたⓈは13番14番ホームへ上がるエスカレーター右手の売店へ入る。
06:59	同駅にて週刊誌と飲食物を購入したⓈは、同駅(西)奥の休憩所の椅子に腰掛けて携帯電話を取りだし、液晶ディスプレイを見つめながら何か操作を行う。
	 <p>※以下抜粋</p>

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)	
時 間	内 容
午前 07:21	<p>その後同休憩所を出た㊦は、13 番 14 番ホームのエスカレーター(コンコース東側)へ乗り、ホームへと上がる。</p> <p>エスカレーターにてホームへ上がった㊦は、14 番ホームへ到着予定のはやぶさ 200 号の 20 号車停車位置付近にて同列車の到着を待つ。</p>
07:31	<p>左記時刻、㊦が乗車予定であるはやぶさ 200 号が定刻通り同駅に到着すると、㊦は他客と共に 20 号車後方の乗降口から同列車へ乗車する。</p> 
07:32	<p>乗車後㊦は事前情報通り、7 番 B 席へ向い、所持品を上部荷棚に載せると同席に腰を下ろす。間もなく、㊦を乗せたはやぶさ 200 号が発車し、東京へ向けて走り始める。</p> 

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)

時 間	内 容
午後 00:05	<p>はやぶさ 200 号が東京駅へ到着するまでに、㊦が途中の駅で降車する可能性を考慮して各停車駅(岡山・新神戸・新大阪・京都・名古屋・新横浜・品川)へ停車する5分前に20号車の㊦の様子を確認するが、どの駅においても㊦が降車する様子は全く見られず。</p> <p>※本日当列車は静岡県内では大雨の為に徐行運転となっており、東京駅への到着時刻が約40分遅れる旨の車内アナウンスが随時流れている。</p>
00:19	<p>当列車が定刻から約34分遅れて東京駅18番ホームに到着すると、㊦は他客と共に降車して18番ホームを南へ歩いていく。</p> <p>※以下抜粋</p> <p>黒鹿中央口へ上がった㊦は、新幹線改札口付近にて辺りを見まわした後、同所にいた後藤麻子氏(以下A子と呼称)と思しき50代女性と合流。A子は㊦が待合わせ場所を間違えていた為か、笑顔で「バーカ」といいながら㊦へ歩み寄る。</p> <p>※A子服装:白色ハイネックインナー、黒色カーディガン、黒色ロングスカート着用。黒色ポーチ、濃茶色ショルダーバッグ、ベージュ色傘所持。</p> <p>その後2人は談笑を交わしながら黒鹿中央口から北口へと歩き始める。</p>
	
00:20	<p>談笑しながら東京駅構内を歩いていた㊦とA子が手を繋いで歩き始める。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)

時 間	内 容
午後 00:22	 <p>ⓂとA子は手を繋いだまま構内を歩き、エスカレーターにて地下1階へ降りると西方向へ歩き始める。 2人は談笑しながら立山側連絡通路方向へ歩き始める。</p> 


調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)

時 間	内 容
午後 00:58	 <p>※以下抜粋</p> <p>㊦とA子は、ずっと手を繋いだままエスカレーターにて黒鹿中央口1階へ上がって行く。</p> 

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)	
時 間	内 容
午後 00:59	<p>㊦とA子は暫く歩いた後、百貨店『太陽 東京店』(東京都雨後区立山1丁目30-1)店内へ向かうエレベーター前で立ち止まる。 2人はエレベーターを待ちながら談笑している。</p> 
01:00	<p>同エレベーターの扉が開くと中から一般客が降りて来、その後㊦とA子はエレベーターに乗り込む。エレベーターに乗った㊦は左手を伸ばして、8階のボタンを押す。すると直ぐに扉が閉まり、2人は階上へと上がって行く。</p> 

調査日 平成30年10月9日(土)



時 間	内 容
午後 01:01	<p>8階にてエレベーターを降りた㊦とA子は同階の催事場方向へ歩き始める。 2人は催事場に立ち寄る事無く、同階北東角のトイレへ入る。</p> <p>※以下抜粋</p>
01:10	<p>暫くするとトイレから㊦が出て来、A子の元へ歩み寄りながら笑顔で何やら話しかけている。</p> 
	<p>㊦とA子は談笑しながら同階北東のエレベーターの到着を待つ。</p> 

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)	
時 間	内 容
午後 01:11	エレベーターの扉が開くと 2 人共エレベーターに乗り込む。既に他客によって 1 階のボタンが押してあり、㊦らが新たにボタンを押す様子が見られない事から、㊦らも 1 階で降りる様である。
01:12	エレベーターが 1 階に到着すると、㊦と A 子はエレベーターから降り、手を繋いで同店内を南へ歩き、正面入口より同店を後にする。 ㊦と A 子は談笑しながら構内を黒鹿中央出口方向へ歩き始める。 ※以下抜粋
02:27	㊦と A 子は『ジョースター コーヒーショップ』前の階段を下りると『黒鹿地下街』へと降り、地下 1 階から『太陽 東京店』へ入る。 
02:29	同店地下 1 階の『グルメパラダイス』内を、手を繋いだままゆっくりとした足取りで談笑しながら北側へ歩いた㊦と A 子はお弁当のコーナーにて足を止め、ショーケースに陳列されてあるお弁当を眺め始める。

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)

時 間	内 容
午後 02:30	 <p>Ⓢはショーケース内のお弁当を指差しながら選んでいる様子で、2 人は共に笑顔で楽しそうに会話している。</p> <p>お弁当を決めたのか、Ⓢは店員に声を掛けて商品を注文すると、料金を支払う。A 子は財布から「太陽」のポイントカードの様な物を取り出して同店員へ手渡す。</p> 

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)

時 間	内 容
	<p data-bbox="395 255 1516 338">お弁当 2 つを白いビニル袋に入れた店員がそのビニル袋を㊦に手渡すと㊦はお弁当の入っているビニル袋を A 子に渡す。</p>   <p data-bbox="395 1832 1516 1915">続いて店員は A 子にポイントカードの様な物を返し、㊦と A 子が話しながら店員と会話を交わす。</p> <p data-bbox="395 1928 1516 2011">お弁当を購入した㊦と A 子は店内を北側へと進んで行く。歩きながら A 子は所持していたビニル袋を㊦に渡す。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)

時 間	内 容
午後 02:31	<p>㊦と A 子は談笑しながら歩き、「お酒」のコーナーで足を止め、商品を選び始める。</p>
	
	<p>㊦は店員に声を掛けており、何か尋ねているようである。 問い掛けに答えた店員へ右手を軽く上げてお礼を言った㊦は缶ビールを 1 本手に取る。 (品名は不明である。)</p> 
02:32	<p>㊦が A 子に話しかけた後もう 1 本缶ビールを手にとると、A 子は㊦の所持していたビニル袋を受け取り、㊦と A 子はレジへ向かう。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)

時 間	内 容
	 <p>The table contains three sequential photographs documenting an investigation in a supermarket. The top photograph shows a man in a dark suit and white shirt holding a white plastic shopping bag, standing in an aisle with shelves of products. The middle photograph shows the same man in the suit holding a small, round container, with another person partially visible behind him. The bottom photograph shows the man in the suit at a checkout counter, interacting with a cashier who is wearing a green hat and a white apron over a light-colored uniform. The man in the suit is holding a brown bag.</p>


調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)

時 間	内 容
午後 02:33	<p>レジに着くと㊦が缶ビールの料金を支払い、缶ビールの入った緑のビニル袋を受け取る。</p> <p>店員からお釣りを受け取った㊦は A 子と共に店内を西側へと進む。</p>  <p>同店を西側から出、地下中央通路に入った㊦と A 子は続いて立山側への連絡通路を地下鉄東西線方向へ歩いて行く。</p>
02:34	<p>暫く談笑しながら歩いた㊦と A 子は手を繋ぐと、そのまま歩き続ける。</p> 
02:35	<p>黒鹿 1 丁目方面へ左に折れた㊦と A 子は地下 1 階の『ロマンチックロード』へ入る。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)	
時 間	内 容
午後 02:36	『ロマンチックロード』を抜けて更に歩き続けた㊦と A 子が薬局へ立ち寄る。㊦は店内で保冷庫の中に並べられた栄養ドリンクを見ている。 
02:38	商品を選び終えた㊦はレジにて精算を行う。 商品の入った半透明のビニル袋を受け取った㊦は A 子の元へ歩み寄る。 
02:39	㊦と A 子が歩き始め、黒鹿地下中央口方向へと進んで行く。暫くすると㊦と A 子は立山側への連絡通路を、手を繋いで歩く。

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)


時 間	内 容
午後 02:43	<p>㊦とA子は新帝京ビル方面出口や地下鉄営団立山線へ向かう通路を1度は通り過ぎるも、踵を返して同通路に入っていく。</p> <p>※以下抜粋</p>
02:59	<p>『梅錦』1階店内を歩いた㊦とA子は南西の出入口より同店を後にする。</p>   <p>同刻、外は台風 22 号の影響で、風は強くないものの激しい雨が降っており、㊦は所持していた A 子の傘を差すと、その 1 つの傘に㊦と A 子が入り、『梅錦』南西に面した通りを南東へ、手を繋いで歩き始める。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)	
時 間	内 容
午後 03:01	南東に約 200m 歩いた㊦と A 子は男山通りに出ると、同交差点北角のコンビニエンスストア『ジョナサン 根知 3 丁目店』(東京都宝山区根知 3 丁目 10-9)へ入る。 こちらは同所周辺にて監視態勢を執る。
03:07	同店より、㊦と A 子が出て来るも、同店前の信号が赤の為か、同店の軒下で㊦が A 子の傘を差して立ち止まっている。 
	交差点の信号が青になると、同店の軒下より、A 子の傘へ一緒に入った㊦と A 子が手を繋いで通りへ出て来、男山通りを南東に横断して行く。
03:08	通りを横断し終えた㊦と A 子は男山通りを左に折れると同通りの南東側を風雅方面(北東)へ歩き始める。
03:09	約 60m 進んだ㊦と A 子は 1 つ目の角を右へ折れると通りを南西に歩く。 南西に約 70m 歩いた 2 人は 2 つ目の角を左に曲がり、北東へ歩き始める。
03:10	北東に約 60m 歩いた㊦と A 子は 2 つ目の角を左に折れると約 10m 進み、左方のシティホテル『ホテル根知』(東京都宝山区根知 3 丁目 15-2)軒下に入る。



調査日 平成30年10月9日(土)

時 間	内 容
	 <p>④はA子の傘を閉じるとブレザーに付いている水滴を振り落とし、⑤とA子が同ホテル1階フロントへ入って行く。 ※同ホテルの1階は非常に狭く、待合席も用意されていない状態である。 ⑤はチェックインの為、用紙に住所や氏名を記入し始めるが、A子は少し離れた場所で④を見つめている。</p> 

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)

時 間	内 容
	
午後 03:11	<p>記入を終えた④はフロント係に何やら言われ、ビジネス鞆の中からクーポン券の様な物を取り出してフロント係に渡す。 その際、A子は④の傍へ歩み寄って何か会話を交わしている。</p>
	
03:12	<p>チェックインを終えてカードキーを受け取った④とA子はエレベーターへと歩いて行く。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)

時 間	内 容
	 <p data-bbox="312 922 1257 1003">エレベーターに乗り込むと㊦が 5 階のボタンを押す。 間もなく、エレベーターは 5 階へ到着し、㊦と A 子はエレベーターから降りる。</p>
午後 03:13	<p data-bbox="284 1070 1398 1151">エレベーターを降りて右方へ歩いた㊦と A 子は、エレベーターに向かって左隣の 500 号室前に立ち止まり、㊦がカードキーで開錠を試みる。</p> <p data-bbox="284 1164 1398 1245">しかし、㊦がカードキーを挿入してもドアは開錠されず、㊦は戸惑っている様子である。 ㊦は何度も開錠を試みるも、「500 号室」のドアは開錠されない。</p>
	

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)	
時 間	内 容
	<p>調査員は一般客を装って㊦達と共に 5 階へ上がっていたが、この状況では入室の瞬間までその場に留まる事が困難であり、また㊦らに警戒心を与えない為にも、見兼ねた様子で㊦に声を掛ける。</p>  <p>「ゆっくり差し込んでみてください。」と言う調査員に「あ～すみません！」と㊦は答え、A 子は「せっかちだから。」と㊦の右肩を軽く叩く。その後、㊦はカードキーを差し込むも、やはりドアは開かない。調査員が「やってみましょうか？」と問い掛けると「すみませんねえ」と㊦は返答する。</p> <p>調査員がカードキーを受け取ると、㊦がカードキーの挿入方向を逆さまに挿入していた事がわかり、㊦にその事を伝える。すると㊦は「逆か～！すみません！」と安堵の表情を見せる。</p> <p>㊦は方向を確認し再度、カードキーを挿入して 500 号室の開錠を行う。</p> <p>同室のドアが開くと㊦は「すみません！ありがとうございます！」と礼を言い、A 子も「有り難うございます」と何度も調査員に軽く頭を下げる。</p> <p>㊦は入室する際に「まいったな～！」と呟いて入室して行く。</p>
午後 03:14	

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)

時 間

内 容



調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)

時 間	内 容
-----	-----

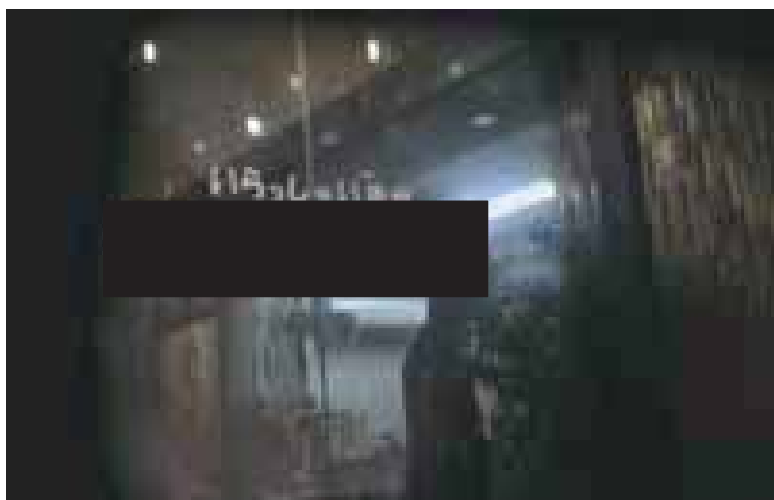


㊦と A 子が同ホテルにチェックインをし、500 号室に 2 人が入って行く様子も完全に確認出来た為、こちらは明日の退室を確認すべく、同フロアの 5 階に部屋を借りる事とした。

調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)

時 間



内 容



調査日 平成 30 年 10 月 9 日(土)	
時 間	内 容
	<p>㊦と A 子がお弁当やビールを購入して入室している事や、本日は台風 22 号の上陸で上記時刻以降、ますます雨や風が共に強くなっていく事からも㊦達が明日までに外出する可能性は非常に低い、念の為、500 号室のドアにマーキングを施し、外出すれば確認出来るよう態勢を整えておく。</p>
午後 06:26	<p>㊦と A 子が 500 号室に入室して 3 時間以上が経過するも、マーキングに変化は見られず、2 人は入室したままの状態である。</p> <p>又、上記時刻、台風 22 号は関東地方に更に接近しており、雨、風が非常に強い状況である。</p>
08:32	<p>依然として㊦、A 子共に 500 号室から出て来る様子は無く、マーキングに変化は見られない。</p>
10 月 10 日 午前 00:00	<p>㊦と A 子が 500 号室に入室してから約 9 時間が経過するも、㊦達が外出する様子は無い。</p> <p>こちらが施したマーキングに変化は無く、上記時刻以降に外出する可能性は低いものと思われる。</p> <p>上記の経過を調査本部に連絡し、協議の結果、同時点で本日の調査を終了して明日 10 月 10 日(日)に㊦と A 子が退室する様子の撮影及び、確認を行う事とした。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)	
時 間	内 容
午前 06:53	<p>山坂一夫氏(以下Ⓢと呼称)の行動を調査する為、10月9日(土)に後藤麻子氏(以下A子と呼称)と共に入室した『ホテル 根知』(東京都宝山区根知3丁目15-2)の500号室周辺にてⓈとA子が退室する迄、監視態勢を執る。</p> <p>※同ホテルのチェックアウトは午前11時となっている為、その時刻迄には退室するものと思われる。又、同時点において、500号室に施したマーキングに変化は見られず、10月9日に同室へ入室後現在まで、ⓈとA子が同室より出ていない事が確認される。</p>
09:00	<p>左記時刻に至るも500号室からⓈ及びA子が現れる様子は見られない。</p> <p>同フロアの他の宿泊客が同ホテル2階のレストランへ朝食をとりに向かったり、チェックアウト行ったりしている様子が見られる。</p>
10:00	<p>依然としてⓈ、A子共に退室する様子は見られないが、ホテルの清掃員がベッドメイク等の客室の清掃をする姿が見られ始める。</p>
10:44	<p>左記時刻、500号室より昨日と同じ服装で黒いビジネス鞆とA子の傘及びカードキーを所持したⓈが出て来、続いてA子も同室より出て来る。</p> <div data-bbox="395 1016 1437 1724" data-label="Image"> </div> <p>※A子の服装も昨日と変わっておらず、茶色のショルダーバックと黒色のポーチを所持している。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)

時 間	内 容
	  <p>㊦が隣のエレベータースイッチを押して間もなく、5階へ停止したエレベーターに㊦とA子が乗り込み、階下へ降りて行く。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)

時 間	内 容
	

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)

時 間	内 容
午前 10:45	<p>エレベーターにて 1 階へ降りた㊦と A 子はフロントへ向かうと㊦が所持していたカードキーを返却し、そのまま同ホテルを後にする。</p> <p>㊦と A 子は手を繋ぐとホテルに面した五橋通りを北西へ歩き始める。</p> <p>約 300m 歩いた㊦と A 子は 2 つ目の信号で左へ折れると宝山通りを南西へ向う。</p> <p>※㊦と A 子は終始、手を繋いでおり、非常に楽しそうな笑顔で談笑を交わしながら歩いている。</p>
10:51	<p>㊦は歩いて暑くなったのか、着ていたブレザーを歩きながら脱ぐと左腕にそれを掛け、再び右手で A 子と手を繋ぐと中央通りを南西に歩いて行く。</p> <p>約 200m 歩いた㊦と A 子は百貨店『寒梅』(東京都宝山区根知 4 丁目 6-16) 前の交差点を右へ折れると誠鏡通りを北西へ歩き始める。</p>
10:59	<p>約 300m 北西に歩いた㊦と A 子は『明鏡止水』(東京都村田区明鏡町 2 丁目 5-1) 前で立ち止まると A 子がポーチよりチケットの様な物を取り出して㊦に手渡すと㊦はそれを眺める。</p>
11:00	<p>チケットの様な物を眺めながら歩き始めた㊦は A 子と談笑しながらエレベーターホールへ向かうと、A 子と腕を組んでエレベーターに乗り込み、階上へ向かう。</p>
	

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)	
時 間	内 容
午前 11:01	 <p>A 子が 11 階のボタンを押すと、エレベーターは 11 階へと上がって行く。</p>
	<p>エレベーターが 11 階へ到着すると A 子、⓪の順で降り、2 人が映画館入口へ歩いて行く。</p>  <p>※同所にはポール・スミス主演の「アイ・キャント」とトム・ホワイト主演の「マイノリティ」のポスターが展示してあり、同映画が上映されている様である。</p> <p>館内に入ると A 子は係員に⓪が先程、所持していたチケットの様な物を見せて、会話している。直ぐに会話を終えた A 子は⓪と共に映画館を後にし、エレベーターへ戻って行く。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)

時 間	内 容
	
午前 11:02	<p>エレベーターに乗り込んだ㊦と A 子は階下へ降りて行く。 ※2 人は映画を鑑賞する予定であったが、所持していたチケットの様な物が使用出来なかったものと思われる。</p>
11:03	<p>1 階にてエレベーターを降りた㊦と A 子は手を繋ぐと誠鏡通りを北西へ歩き始める。</p>
11:10	<p>ゆっくりとした足取りで約 350m 歩いた㊦と A 子は㊦鶴交差点を北西に横断し、続いて同交差点を南西に渡ると『㊦鶴公園』へ入って行く。</p>
	
11:13	<p>同園内を出羽桜池沿いに南へ歩いた㊦と A 子は出羽桜池西側の広場内ベンチ前で立ち止まり、A 子が直ぐにベンチへ腰を下ろす。 ㊦は左腕に掛けていたブレザーをたたむとベンチ脇にブレザーを置いて、腰を下ろす。 ㊦と A 子はベンチに腰を下ろしたまま楽しそうに談笑している。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)	
時 間	内 容
	 
午前 11:40	依然として㊦と A 子は同ベンチにて談笑しているが、㊦は肌寒くなったのかブレザーを着用して、談笑を続ける。
午後 00:00	㊦と A 子は終始、楽しそうな笑顔浮かべて談笑を続けており、同所を後にする様子は見受けられない。

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)

時 間	内 容
	
午後 00:25	<p>㊦はブレザーの右ポケットから飴の様な物を取り出すと A 子に手渡す。 その後㊦は更に、ブレザーの右ポケットから同じ物を取り出す。</p>
00:26	 <p>A 子は㊦から受け取った物の包みを開け、口へ運ぶ。 ㊦も同様に包みを開けるとそれを口へ運び、A 子との談笑を続ける。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)

時 間	内 容
午後 00:56	 <p>㊦と A 子はベンチから立ち上がるとベンチに置いていた鞆を各々が所持し、A 子の傘は㊦が所持して北へと歩き始める。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)


時 間	内 容
	
午後 00:58	<p>出羽桜池沿いを北へ歩いた㊦と A 子は手を繋ぐと同公園を後にする。</p>
	
	<p>㊦と A 子は、鶴交差点を南東へ渡ると、続けて同交差点を北東へ渡り、誠鏡通りを根知方面(南東)へ歩き始める。</p>
	<p>約 100m 歩いた㊦と A 子は 1 つ目の筋である立山中通りへ左に折れて入り、同通りを北へ歩き始める。</p>
01:13	<p>繋いだ手を離す事無く約 900m 北へ歩いた㊦と A 子は東京駅西側の都道 600 号線を北へ横断後、右へ折れて同都道を東京駅方面へ歩き始める。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)

時 間	内 容
午後 01:17	 <p>約 250m 東へ歩いたⓉとA子は東京駅(東京都雨後区立山1丁目9-1)の外周を北へ歩き始める。</p> 

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)

時 間	内 容
午後 01:20	暫く歩いたⓄと A 子は立山北口より東京駅構内へと入って行き、構内に入っても手を繋いだまま談笑を続け、黒鹿中央口方向へ歩いて行く。
	
01:24	暫く歩いたⓄと A 子は北入口から百貨店『太陽 東京店』(東京都雨後区立山 1 丁目 9-1)へ入る。
	

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)	
時 間	内 容
	
午後 01:25	『太陽』内、北側のエレベーターホールへ向かった㊦と A 子はエレベーターに乗り込むと階上へ向かう。
01:26	8 階にてエレベーターを降りた㊦と A 子は北東角にあるトイレへ入って行く。
01:27	トイレから出て来た㊦は少し離れた場所で A 子を待つ。
01:29	A 子もトイレから出て来、㊦の元へ歩み寄ると、2 人は談笑しながら同階のレストラン外方向へ歩き始める。
01:30	催事場を抜けて『太陽 レストラン街』に入った㊦と A 子は、うなぎ料理店の前で立ち止まるとガラス張りの見本料理を眺める。
	その後、㊦と A 子は同うなぎ料理店『うなぎ平成橋 夏子』に入りかけるも、出入口が混み合っていた為、店舗前で待つ。

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)

時 間

内 容



調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)

時 間	内 容
午後 01:31	 <p>暫くの後、㊦とA子が同店内へと入り、入口脇の待合席へ腰を下ろす。</p>  

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)

時 間	内 容
午後 02:26	<p>間もなく、席が準備されたのか、㊦と A 子は店内 1 番手前の 2 人掛けの席へ腰を下ろす。</p> <p>伝票を所持した A 子と㊦がレジへ歩いて来る。 精算は A 子が行い、㊦は同店から出て店舗前にて A 子を待つ。 ※㊦はブレザーを脱いで左腕に掛けており、右手に A 子のショルダーバック、左手にビジネス鞆と A 子の傘を所持している。</p>   <p>02:27 精算を終えた A 子が店内より出て来、㊦の元へ歩み寄る。 ㊦と A 子はレシートのような物を 2 人で眺めながら『レストラン街』を抜ける。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)	
時 間	内 容
	
午後 02:28	同階の催事場を抜けた㊦と A 子が北東角のトイレに入って行く。
02:29	㊦が先にトイレより出て来、A 子を待つ。 ※この間に㊦は左腕に掛けていたブレザーを着用する。
02:31	A 子はトイレから出て来ると㊦へ歩み寄り、談笑しながらトイレ前のエレベーターに乗り込んで階下へ向かう。
02:32	1 階にてエレベーターを降りた㊦と A 子は『太陽』1 階の店内を東へ歩く。 ※歩きながら A 子は㊦の右腕に手を廻し、腕を組む。
02:33	㊦と A 子は腕を組んだまま『太陽』を後にする。
	以下抜粋

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)

時 間	内 容
午後 06:00	<p>『太陽』を後にした㊦と A 子は東京駅地下 1 階を黒鹿中央口方向へ歩き始める。 ※㊦が所持していた A 子の傘を A 子に渡すと A 子は左手を㊦の右腕に廻して歩く。</p> 
06:01	<p>㊦と A 子は時刻表の前で立ち止まると、腕を組んだまま上を見上げて時刻表を眺める。</p>  <p>その後、㊦と A 子は場所を少し移動し、地下 1 階にて立ち止まったまま談笑をしている。</p>
06:06	<p>暫く談笑をした後、㊦と A 子はエスカレーターにて 1 階へ上がり始める。</p>
06:07	<p>1 階へ着いた㊦と A 子は黒鹿中央口改札方向へ歩いて行く。</p>
06:08	<p>東海道・山陽新幹線の改札口前まで歩いた㊦と A 子は辺りを見回すと A 子が㊦の背に右手を廻して左手で時刻表を指差し、2 人が時刻表を眺め始める。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)	
時 間	内 容
午後 06:11	<p>暫く時刻表を眺めていたが、㊦はブレザーを脱ぐと左腕に掛け、A 子の話を聞いている。A 子は改札口方向を見ながら身振り手振りを交えたいに何やら説明をしている様に見受けられる。</p> 
06:15	<p>㊦は Y シャツの胸ポケットから新幹線の切符を取り出すと、再び時刻表を眺め、その後 A 子と談笑を始める。</p> 

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)

時 間	内 容
午後 06:19	<p>㊦とA子は新幹線改札口へ歩き、㊦は切符を自動改札に通して改札口を抜ける。</p>
	 <p>A子は改札口前で立ち止まり、㊦を見送っている。自動改札を抜けた㊦が振り返ってA子に右手を振ると、A子も左手を上げて㊦に手を振る。</p>
06:20	 <p>その後㊦はホームへと向かい、歩いて去って行くが、A子は㊦の姿が見えなくなるまで改札口で見送っている。</p> <p>㊦の姿が見えなくなったA子は東京駅構内を歩いて行く。一方㊦はエスカレーターにてホームへ上がる。</p>

調査日 平成 30 年 10 月 10 日(日)	
時 間	内 容
午後 06:21	<p>㊦は既に停車している 18 時 33 分発はやぶさ 600 号広島行き の 30 号車に乗車する。</p>  <p>㊦は 16 番の座席へ向うと荷物の整理を始める。</p>
06:22	<p>間もなく㊦は鞆やブレザーを上棚に置いて「16E」席へ腰を下ろす。</p> 
06:24	<p>㊦が広島行きの新幹線に乗車しており、今から広島へ帰る事が確認出来た為、上記の経過を調査本部へ報告し、協議の結果、同時点で本日の調査を終了する事とした。</p>